

より良い学習英文法の構築に向けて

—現在完了形に着目して—

高橋 保夫

抄録：本稿は言語学研究成果を活用した、より良い学習英文法を構築する一環として、現在完了形に焦点をあてて考察するものである。現在完了形は学校で学ぶ英文法の中でも基本的な項目の1つであるが、学習者がなかなかその使い方に習熟できていないものと思われる。本稿では学習者の現在完了形に対する理解がより深まるために教師が押さえて置くべき内容を考察する。

キーワード：学習英文法、現在完了形

1. はじめに

日本の英語の授業で (1a) を英語にする際、(1b) のようにして、平然としている学習者が大勢いるかもしれない。それでは予定になってしまう。「～している」=be +～ing という過度な一般化である。また、(2) の対話を過去の話をしていると勘違いする学習者も多いのではないだろうか。過去時制を使ってはいるが、現在の話をしているのである。

文法知識が欠落している意志疎通が円滑に行われないのである。

(1) a. 彼は3年間英語を習っている。

b. He is learning English for three years.

岡田 (2001: 20)

(2) A: Did you want me?

B: Yes, I hoped you would give me a hand with the painting.

Leech (1987: 15)

実際の教室では教師から日本語を英語にする際、時制は過去にするのがいいのか、現在完了にするのがいいのかというような問いかけが行われているかもしれないが、まずは学習者に3つの概念の違いをはっきりさせておいたほうが良いのではないだろうか。時の関係を表すのに用いられる動詞の形であるのが時制 (tense) で、実際の時間を表すのが時 (time) である。多くの場合時制と時は対応しているが、対応していない場合もある。そして動作が進行しているとか完了しているとかのような、動作・出来事の様態の区別を相 (aspect) と呼ぶ。その出来事が継続中である場合には進行形を、完了している場合には完了形を用いる。¹⁾用語を使うか使わないかは別問題である²⁾。

本稿では、時、時制、相の概念を念頭に置き、現在完了形の理解には日本語との対比が効果的であることを示す。

2. 完了形の構造

まず完了形の構造がどのようなものなのか見てみよう。小野 (2015) によると、古英語においては現在完了は (3) のような形をしていたという。³⁾

(3) Ic hæbbe hine gebundenne.

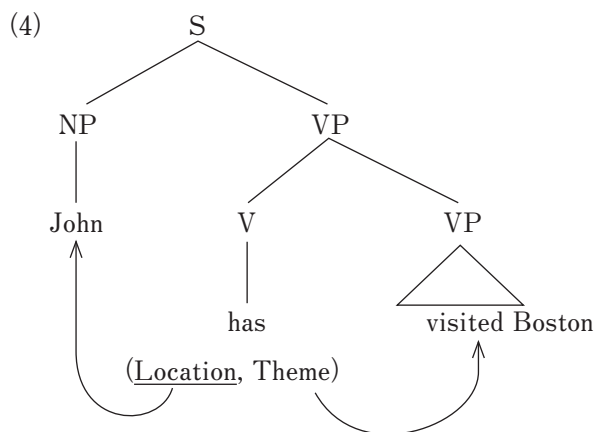
(I have him bound)

'I have bound him'.

小野 (2015: 158)

完了形は過去分詞に続く部分、動詞句の部分を have という本動詞が「所有している」という形になっている。

have の項構造はどうなっているのだろうか。John has a car. という本動詞 have を使った文では、a car が John のところにとどまっているので、本動詞 have は (Location, Theme) という項構造を持っていることになる。(4) で言うと、John は過去に Boston を visit したことがあって、そのことを has しているという意味なのである。



小野 (2015: 160)

日本語を考えると、I have finished my homework. は「私は宿題を終えたところです」となる。「私は宿題を終えました」というただの過去形とは違って、過去形の「した」が現れていて、「ところ」という心理的な場所を表す語が用いられている点が興味深いということである。

教育的視点から見れば、教師がこのような知識をもっているならば、学習者への指導する際、大きな強みになると思われる。本稿では触れないが、進行形の構造なども押さえておくと、完了形だけ、あるいは進行形だけが特殊なものでなく、他の構文との関連を念頭において指導できると思われる。

3. 完了形の意味

柏野 (1999: 110) は、完了形の中核的な意味を Palmer (1987) に従って、「ある時点、(時制に応じて、現在、過去、未来のいつでもよい) の前に始まり、しかもその時点までずっと持続した時間的な広がりを表すのに用いられる」としている。さらに、現在完了の「語用論的な含意」(implicature) と「意味論的な含意」(entailment) について説明している⁴⁾。

現在完了形は、過去の行為・出来事が現在において観察される事柄と何らかの点で関連をもっていることが示される。この現在との関連性は、現在完了の「結果」を表す用法と過去時制を比較すればよくわかる。

- (5) a. Joan has broken the teapot. (and it is still broken)
b. Joan broke the teapot. (but now it may have been mended)

柏野 (1999: 158)

(5a) は「ジョーンがティーポットを割ってしまってそれが壊れている」ことが表されているが、(5b) では「ジョーンがティーポットを割ってしまったが、すでに修理されているかもしれない」という含みをもつという。(5a) のカッコ内の and it is still broken は「語用論的な含意」ではなく、現在完了形という文法形式がもつ意味、「意味論的な含意」だという。

この「意味論的な含意」は (6) のようにキャンセルすることができない。

- (6)* Joan has broken the teapot, but now it is not broken.
cf. Joan broke the teapot, but now it is not broken because I've mended it

柏野 (1999: 158)

一方、(7a) のカッコ内の I have to get a new one は「語用論的な含意」なので (7b) のようにキャンセル可能だという。

- (7) a. Joan has broken the teapot. (I have to get a new one)
b. Joan has broken the teapot, but I don't have to get a new one because I have another in my house.

柏野 (1999: 159)

このような中核的な意味を押さえつつ、本稿では立ち入らないが、現在完了のさまざまな用法を検討していかなければならないと思われる。

現在完了形と過去形の違いについては、ミントン (1999) の例も興味深い。(8) は (9ab) の2通りの英語にすることができるという。

- (8) この冬、2回風邪をひきました。

ミントン (1999: 46)

- (9) a. I have had two colds this winter.
b. I had two colds this winter.

ミントン (1999: 46)

(9a) を5月に言えば間違いになり, (9b) を1月に言えばこれも間違いになるという. (9a) はまだその期間に風邪をひく可能性が残されているうちに言わなければならない. 反対に, (9b) は可能性がなくなってから言わなければならない. 他の文法項目についても言えることであるが, 日本の英語学習者にとって, このような副詞の使い方だけでなく, 現在完了形の理解には日本語と対比が非常に重要になってくると思われる. 次節では, 衣笠 (2012) を引用してそのことを確認する.

4. 日本語との対照

衣笠 (2012) ではまず, 英語の現在完了と日本語の「た」を比較して, (10) のようにまとめている.

日本語	英語 (現在完了)
(10) a. 「た」 + (現在目の前で起こったこと, 起こったばかりのこと, まだその状態がつづいていることが確認できること) --- 完了	
b. 「…ところ (だ)」 --- 完了	
c. 「(過去に時) から」 + 「た (ていた), ている, ~ない」 --- 継続	
d. 「期間」 --- 継続	
e. 「~回」 + 「た, ている」 --- 経験	
f. 「…してきた」「…たことがある (ない)」「…した」 --- 経験	
g. 「まだ…である」「まだ…していない」 --- 完了 (+ not)	

衣笠 (2012: 200)

いくつか具体例を見てみよう. (10a) に関しては (11a) のように場合はもちろんのこと, (11b) のように目の前からいなくなった場合も現在完了が用いられる.

(11) a. (奥さんが) タケオさん 少し太ったんじゃない? You've put on a bit weight, haven't you?	
b. (お客に井を持ってきた奥さんが) アラ!! もうおかえりになっちゃったの! Oh, dear! He's left already?	

衣笠 (2012: 193-194)

日本語では「ところ (だ)」がつくと状態を表すが, 英語では出来事として捉えられる.

(12) (男性が訪問客に) きみ, テンプラそばもきたところだ, くっていってくれたまえ The tempura noodles have just arrived. Come in and have some.	
---	--

衣笠 (2012: 196)

また, (13) では日本語に「ね」とか「かしら」があるだけで対応する動詞がない. それでも出来事か状態の継続ととらえられれば (10d) の「期間」となり現在完了形が用いられる.

- (13) a. (娘が母親に) 久しぶりのクラス会ね
You haven't had a class reunion for a long time, have you?
b. (妻が夫に) フランス料理なんて何年ぶりかしら
It's been so long since I've had French food.

衣笠 (2012: 197)

(14) は (10g) の具体例であるが、興味深いことは、日本語では肯定でも否定でも「まだ…である」「まだ…していない」と状態で表しているのに対し、英語ではすべて「まだ出来事が起こっていない」ということである。⁵⁾

- (14) a. (離婚届について, 妻が夫に) あなた区役所もまだですよ
You haven't been to the town office yet!
b. (タクシー運転手が奥さんに) りょう金がまだなんですか
You haven't paid me yet.
c. (父親が息子に) なにしゅくぐだいをまだやっていない?
What? You haven't done your homework yet?
d. (男の子が友達について) まだ帰っていないのかな?
He hasn't come home yet.

衣笠 (2012: 199)

この衣笠 (2012) の分類方法ですべて解決するわけではない。たとえば、(10b) の「ところ (だ)」が (12) のように必ず現在完了形に対応するわけではない。⁶⁾

- (15) A: お兄ちゃん もうお母さん行っちゃった?
B: 今出かけたところ

- (16) A: Hey, did Mom leave already?
B: She just left.

『誰も知らない』

しかしながら日本語と英語の違いに留意した指導が効果的であること、しかも日常的な日本語会話をベースにすることでさらに学習者の興味を引き付けるものになることが十分予想できる。

5. まとめ

本稿では 学習者により良い学習英文法を提示することを目的に、現在完了形に焦点をあてて、教師が押さえておくべき内容を考察した。現在完了形の構造、中核的な意味を概観した後、学習者には母語である日本語を活用した、日英対照による提示方法が効果的であることを示した。

注

- 1) 時, 時制, 相について考える際に溝越 (2016) が参考になる.
- 2) 田子内 (2017) では, 概念と用語をいっしょに直接的に教えるのではなくて, 間接的に教えるのが良いとして, 次の3つの方法を提案している. i) 日本語との対応を示す. ii) 冠詞との類似を示す. iii) 文章における違いを示す. ii) はどういうことかという, 話し手と聞き手の双方が特定できるのもであれば定冠詞を使い, そうでなければ不定冠詞を使う. これと並行的に, 話し手と聞き手の双方が特定できるのもであれば過去形を使い, そうでなければ現在完了形を使うのだという. 示唆に富む指摘であるが, 本稿では i) の日本語との対応関係を用いる有効性を示す.
- 3) さらに歴史的考察については安井・久保田 (2014: 188-191) を参照.
- 4) 形式意味論による現在完了形の意味解釈の概略については荻原 (2016: 173-175), 認知言語学的な捉え方については濱田 (2016: 52-56) を参照.
- 5) 衣笠 (2012) では (10) で分類できなかったもの, さらに現在形 (英語) と「た」 (日本語) についても議論している.
- 6) (15), (16) は是枝裕和監督の映画『誰も知らない』 (2004) の日本語字幕と英語字幕からの引用である. 母語話者によるとこの場面での (16) はまったく問題がないという. しかし, ミントン (1999: 43-44) には次の記述がある. 「最近では, 次のような言い方もますます頻繁になってきています. 私にはひどくいい加減な物言いに聞こえます. 現在完了のほうがはるかに望ましく感じられます. しかし, 言葉遣いの変化というものは認めなければならないでしょう.」

i) A: Did you have lunch already?

B: Yes, I did.

文献

- 濱田英人, 2016, 『認知と言語 日本語の世界・英語の世界』 開拓社
- 柏野健次, 1999, 『テンスとアスペクトの語法』 開拓社
- 衣笠忠司, 2012, 『マンガ対訳本から学ぶ日英対照英語表現研究』 開拓社.
- Leech, Geoffrey N., 1987, *Meaning and the English Verb 2nd Edition*, London: Longman.
- ミントン, T. D., 1999, 『ここがおかしい日本人の英文法』 研究社.
- 溝越彰, 2016, 『時間と言語を考える --- 「時制」とはなにか ---』 開拓社.
- 荻原俊幸. 2016, 『「もの」の意味, 「時間」の意味 記号化に頼らない形式意味論の話』 くろしお出版.
- 岡田伸夫, 2001, 『英語教育と英文法の接点』 美誠社.
- 小野隆啓, 2015, 『英語の素朴な疑問から本質へ --- 文法を作る文法 ---』 開拓社.
- Palmer, F. R., 1987, *The English Verb 2nd Edition*, London: Longman.
- 田子内健介. 2017, 「過去形と現在完了形の違いはどう捉えたらよいのか」, 高見健一・行田勇・大野英樹 [編] 『〈不思議〉に満ちたことばの世界 (上)』 開拓社. 181-185.
- 安井稔・久保田正人, 2014, 『知っておきたい英語の歴史』 開拓社.

Towards a Better Way of Presenting English Grammar to Learners: Focus on the English Present Perfect

TAKAHASHI Yasuo

Abstract: The aim of this paper is to investigate a better way of presenting the English present perfect to English learners through examining its structure and meanings. It will be shown that using a comparison between English and Japanese can be very helpful for learners to understand English present perfect usages.